

はじめに

栃木県保健環境センターは、「健やかで安心な暮らしの実現」と「未来につなぐ環境戦略」を推進するため、本県における保健衛生と環境保全分野の技術的な中核機関として、行政依頼検査を行うとともに、国や地方衛生・環境研究所などと連携・協力し、試験研究、技術的支援及び情報提供を行っております。

令和3(2021)年度は、新型コロナウイルス(Covid-19)の検査において、リアルタイムPCRの増設や、所内他部及び他所属からの応援により検査件数の増加に対応するとともに、次世代型シーケンサーを導入しゲノム解析を開始するなど、検査体制の強化に努めてまいりました。

本年は、感染の急拡大を受け、さらにリアルタイムPCRを増設し検査可能件数を倍増するとともに、逼迫する保健所へ職員派遣を継続するなど、新型コロナウイルス感染症対策を最優先と考えた対応をとる一方、BCP(事業継続計画)を発動して事業の選択を的確に判断した上で、調査研究の一部中止や延期等の苦渋の決断をせざるを得ませんでした。

このような厳しい状況の中、県民の健やかで安全な生活を守るため、関係機関と連携し、食品や環境保全のための行政検査や調査研究等について、効率的かつ効果的に対応してまいりました。

今後、新型コロナウイルス感染症の流行が早く収束することを願いつつ、引き続き、県民が健康で安心して暮らせる生活環境の保全や健康危機管理に迅速に対応できるよう、より一層技術の向上を図り、検査研究機関としての責務を果たしていく所存です。

ここに、関係各位の御協力の下、令和3(2021)年度に実施した業務について、「栃木県保健環境センター年報(第27号)」として取りまとめましたので、御高覧いただき、今後とも皆様の御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4(2022)年11月

栃木県保健環境センター

参事兼所長 高梨 弘幸